１．七隈線延伸事業の進捗状況について

１．全体スケジュール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

２．工事の進捗状況　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1～5

令和元年５月２３日（木）

福　岡　市　交　通　局

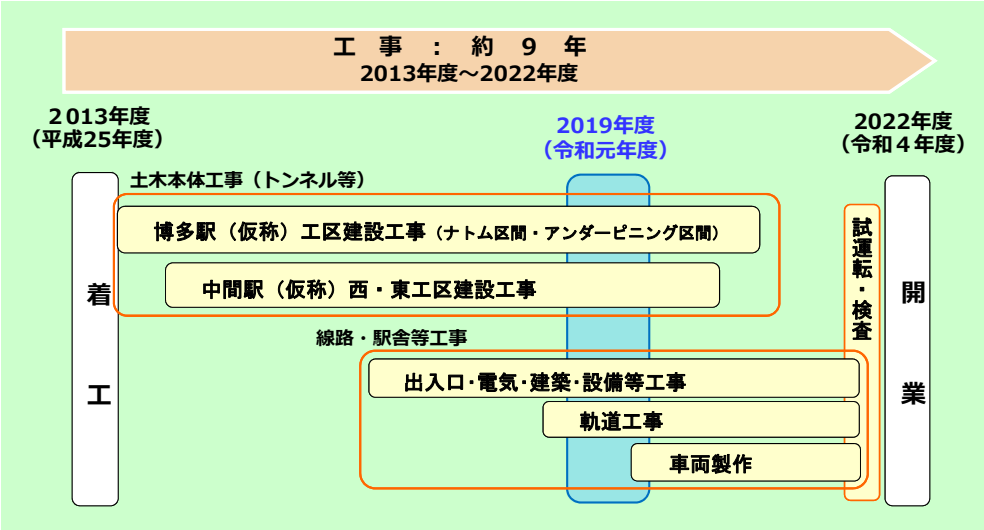
1．全体スケジュール

七隈線延伸事業は，2011年度（平成23年度）より事業化へ向けた取組を開始し，鉄道事業許可や工事施行認可を取得するとともに，環境影響評価や都市計画決定等の手続きを進め，2013年度（平成25年度）に土木本体工事に着手した。その後，2016年度（平成28年度）には中間駅（仮称）の出入口工事に着手した。

その後，平成28年11月８日の道路陥没事故を受けて，その影響を踏まえつつ，安全な施工を最優先に全体工程を調整・精査した結果，開業時期については，2022年度（令和4年度）を予定している。

また，全体事業費については，物価上昇や駅施設の利便性の拡充など，社会情勢の変化による影響や，道路陥没事故の影響を考慮した結果，約587億円を見込んでいる。

◆全体スケジュール



（参考）事業概要

○延伸区間　天神南～博多
○建設キロ　約１．４ｋｍ（営業キロ約１．６ｋｍ）
○建設費　約587億円
○開業予定　2022年度（令和４年度）
○利用人数　延伸区間で約８．２万人／日（需要定着後）
（うち，新規利用者数※は約２．３万人／日）
※マイカーなどから乗り換えて新たに地下鉄を利用する人数

2．工事の進捗状況

（1）土木本体工事の概要

土木本体工事については，「中間駅（仮称）西工区」，「中間駅（仮称）東工区」，「博多駅（仮称）工区」３つの工区に分割し，2013年度（平成25年度）に工事契約を締結した。

工区別概要図

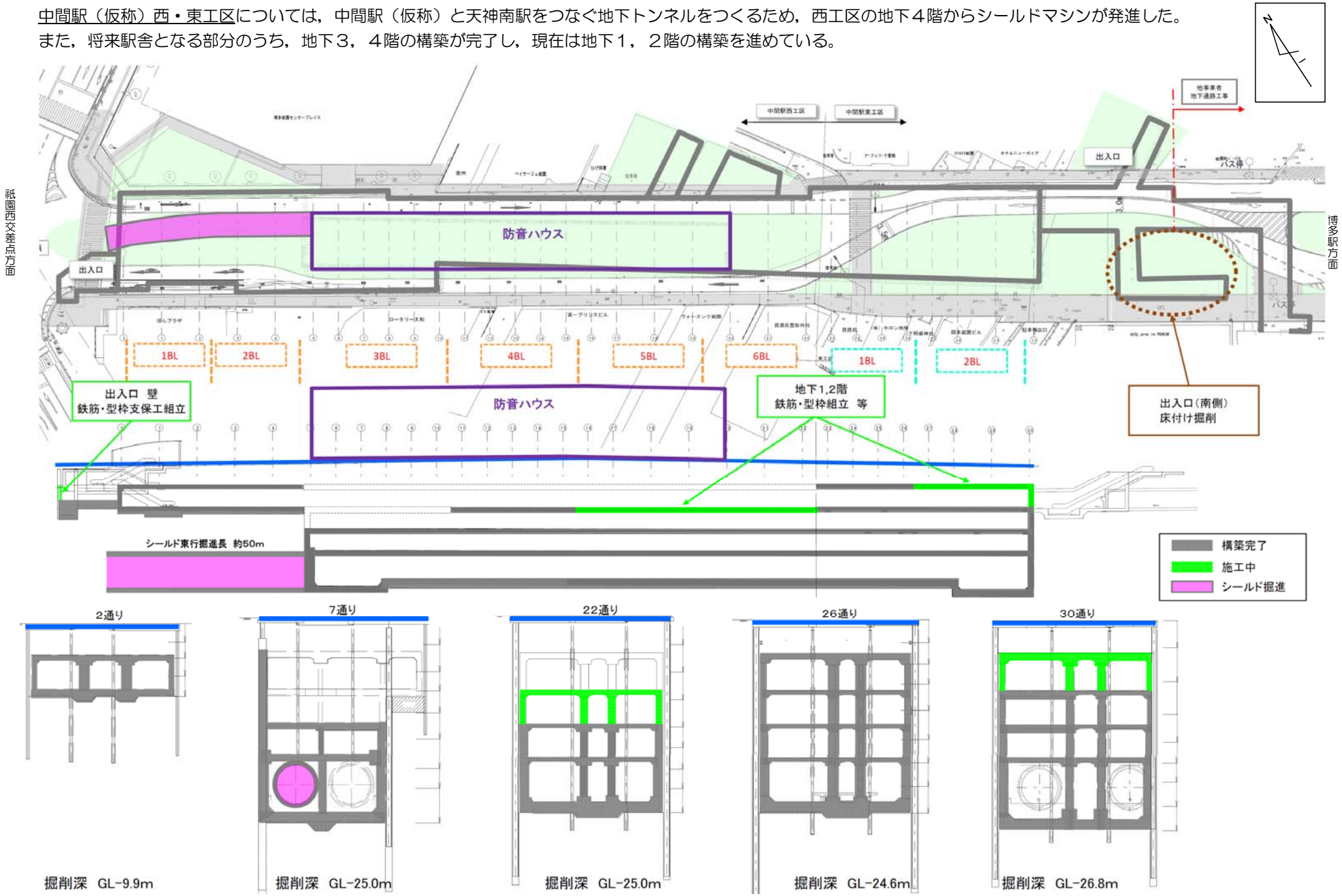
工事名	福岡市地下鉄七隈線 中間駅(仮称)西工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 中間駅(仮称)東工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 博多駅(仮称)工区建設工事
受注業者	大林・熊谷・大本・東田中 建設工事共同企業体	錢高・日本国土・九建 建設工事共同企業体	大成・佐藤・森本・三軌・西光 建設工事共同企業体
工事概要	工事延長　L=670.9m ・シールド工法　L=569.9m ・開削工法　L=138.7m	工事延長　L=469.6m ・シールド工法　L=426.1m ・開削工法　L=43.5m	工事延長　L=279.3m ・都市ﾅﾄﾑ工法　L=195.6m ・開削工法　L=83.7m （ｱﾝﾀﾞｰﾋﾟﾆﾝｸﾞ工法）

2．工事の進捗状況

令和元年５月中旬時点

（2）中間駅（仮称）西・東工区の進捗状況

中間駅（仮称）西・東工区については，中間駅（仮称）と天神南駅をつなぐ地下トンネルをつくるため，西工区の地下４階からシールドマシンが発進した。
また，将来駅舎となる部分のうち，地下３，４階の構築が完了し，現在は地下１，２階の構築を進めている。



２．工事の進捗状況

（2）中間駅（仮称）西・東工区の進捗状況

■はかた駅前通りの道路占用状況①（令和元年5月撮影）

＜祇園町西交差点方面より撮影＞

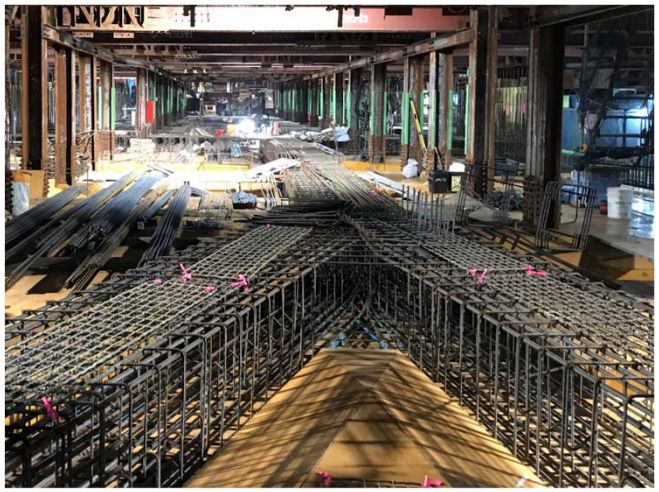
■はかた駅前通りの道路占用状況②（令和元年5月撮影）

＜博多駅方面より撮影＞

■シールドマシンの掘進状況（令和元年5月撮影）

＜中間駅西工区：シールドトンネル坑口で撮影＞

■駅舎の鉄筋・型枠組立状況（令和元年5月撮影）

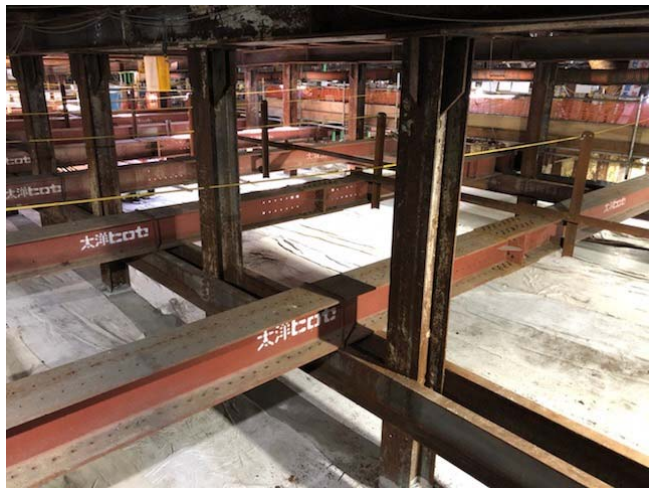


＜中間駅西工区：地下１階で撮影＞

■駅舎の構築完了状況（令和元年5月撮影）

＜中間駅西工区：地下３階で撮影＞

■駅舎のコンクリート養生状況（令和元年5月撮影）



＜中間駅東工区：地下１階で撮影＞

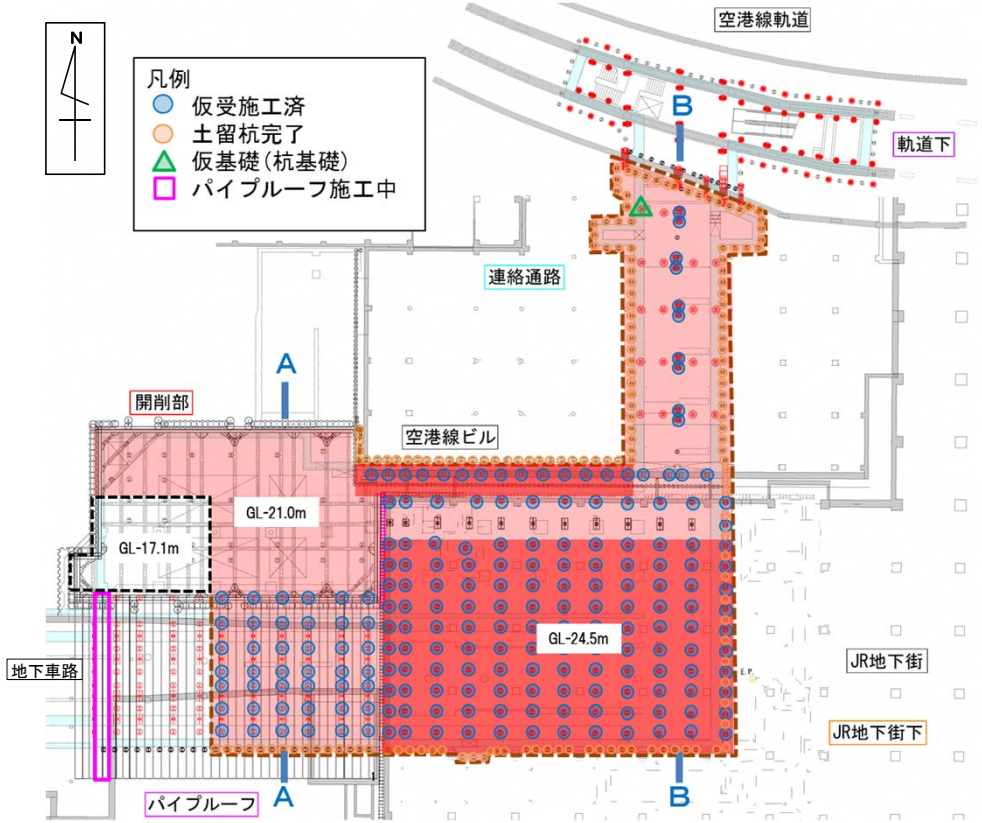
2．工事の進捗状況

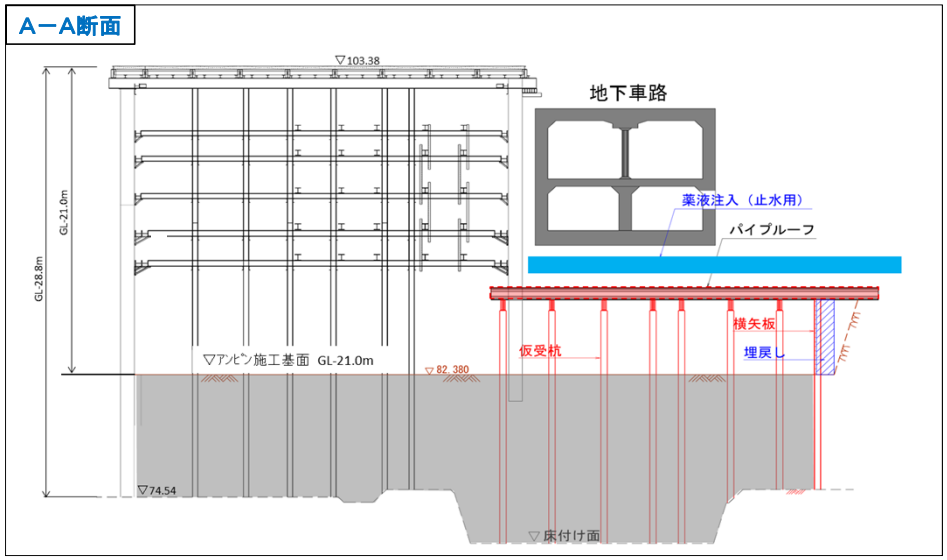
令和元年５月中旬時点

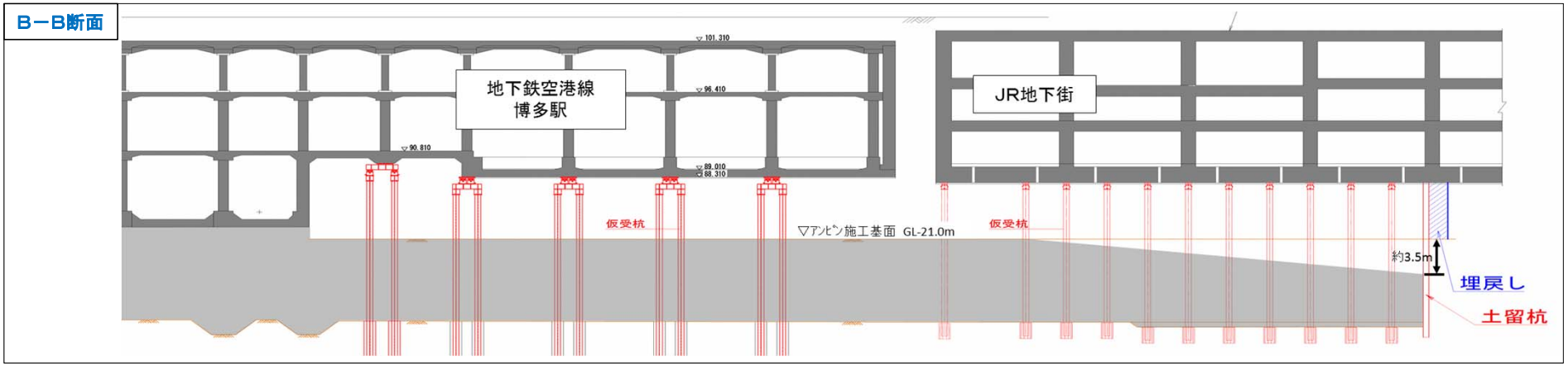
（3）博多駅（仮称）工区の進捗状況

博多駅（仮称）工区【開削部】については，アンダーピニング工法を用い，ＪＲ地下街等を仮受杭で支えながら工事を行っており，現在，ＪＲ地下街部や空港線連絡通路部の掘削工事や，地下車路部のパイプルーフ工を実施している。

（※なお，【ナトム部】における進捗状況は，【報告事項】 2．トンネル坑内水抜き・土砂撤去について で別途報告するため，当該項目では省略する。）







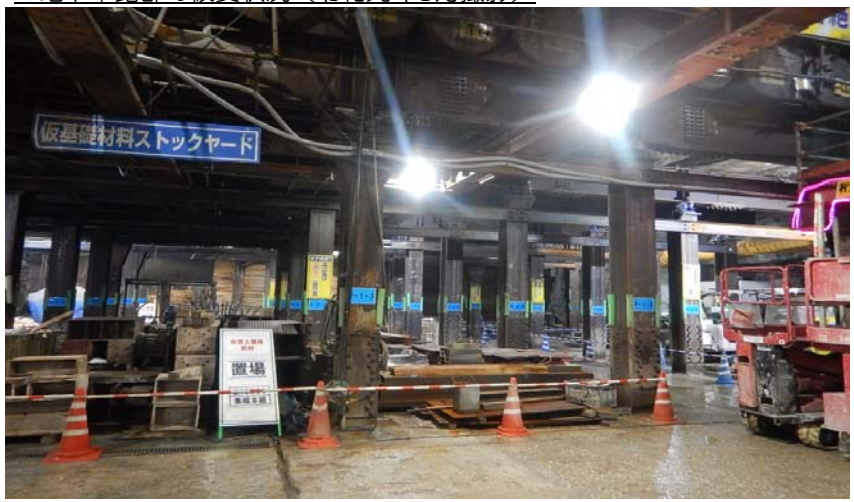
2．工事の進捗状況

（3）博多駅（仮称）工区の進捗状況

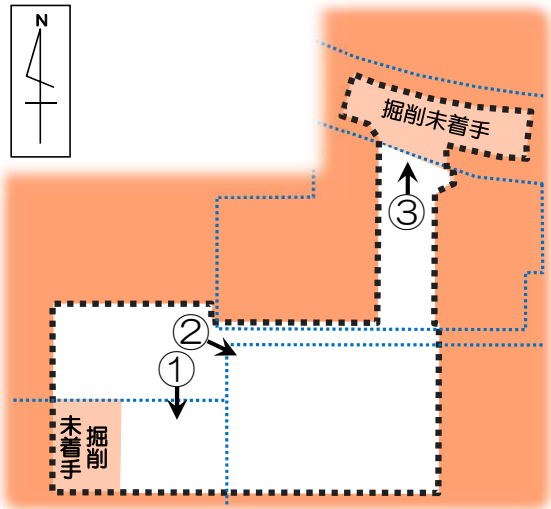
■住吉通りの道路占用状況（令和元年5月撮影）

＜博多駅バスターミナル方面より撮影＞

■地下車路部の仮受状況（令和元年5月撮影）

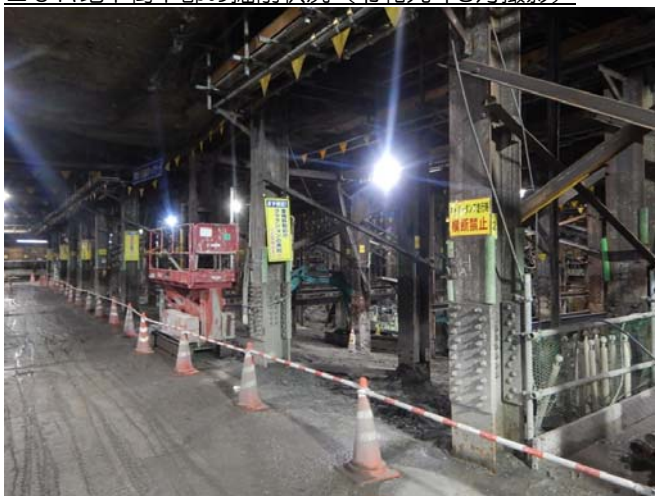


＜①方向より撮影＞



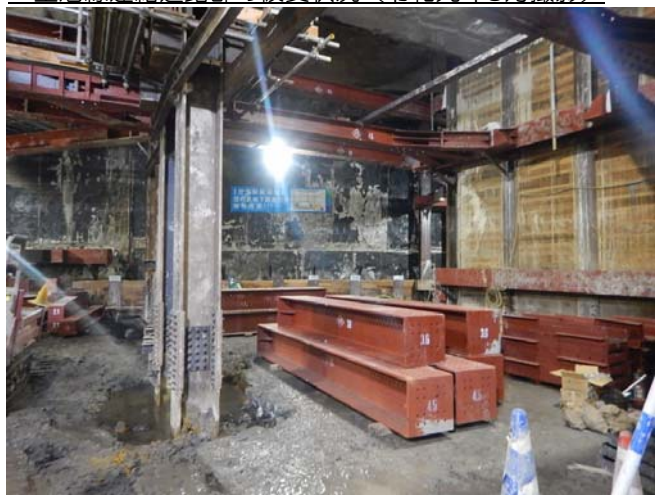
＜平面図＞

■ＪＲ地下街下部の掘削状況（令和元年5月撮影）



＜②方向より撮影＞

■空港線連絡通路部の仮受状況（令和元年5月撮影）



＜③方向より撮影＞